



茨木市立福井小学校

平成30年(2018年)5月23日

福井だより

福井から未来へ

校長 吉田 明弘

修学旅行に行きます

6年生が楽しみにしている修学旅行が間近になりました。修学旅行は思い出作りだけに終わることなく、ヒロシマを訪れることで、peacemakerとしての自分の存在に気づいてほしいと考えています。

そのため、6年生は自らヒロシマについて学ぶだけでなく、絵本「おりづるの旅 さだこの祈りをのせて」の読み聞かせ(対象1年生から5年生)、原爆の子の像にささげる「おりづる」の作製(全校児童および教職員)、被爆体験の聞き取り(5/18実施 茨木市被爆者の会)、ヒロシマで学ぶ決意を表す出発集会(5/22 児童朝会)、そして、修学旅行(5/24、25)、報告集会(日時未定)など、さまざまな機会を通じて「学ぼうとしていること」や「学んでいること」、「学んだこと」を全校児童に発信していきます。



本年度の修学旅行

今年度は以下の概要で修学旅行を行います。

【日時】5月24日(木)~25日(金)

【1日目】学校7:45出発(貸切バス) 新大阪駅9:18(新幹線) 広島駅(広島電鉄) 原爆ドーム前駅 11:20~15:00 平和記念公園&原爆資料館見学 (貸切バス) 宿舎 17:30

【2日目】円通寺6:40(座禅体験) 宿舎8:30(貸切バス) 姫路セントラルパーク10:30~15:00(貸切バス) 学校17:00

【昼食】1日目…お弁当 2日目…姫路セントラルパーク内でカレーセット

【宿舎】国民宿舎良寛荘(倉敷市玉島柏島478)

【費用】21182円

※今年度は児童数が44名のためバス1台使用。来年度はバス2台を使用するため費用は今年度より高くなります。(現時点での料金体系と人数では27472円を予定)



被爆体験の聞き取り

茨木市内在住で被爆体験をされた岩本さんと木村さんにその当時のようすや、被爆したことによって受けた差別や様々な苦しみ、今日までこだわり続けていることなどを話していただきました。

【6年生の感想】

・戦争はあらためて、やってはいけないこと、あってはならないことということを感じました。それなのに当時の人は「戦いたい」と言っている人がたくさんいたと聞いて、その人たちはなんで戦争をしたかったのかなと思いました。……生き残った人も放しゅのうで苦しい人生をおくるんだなと思うと、とてもむねが苦しくなりました。……

・戦争は二度とおきてはならないとあらためて思いました。……今も原爆症で苦しんでいる人がいながら、核の実験をしている国はゆるせません。……

・多くの人なくなり、多くの人悲しむ戦争が、今のこの平和な国で起きていたのがうそのように感じます。……戦争はゆるされないことだと思います。

・広島や長崎に原爆が落とされたのは、戦争がこの世の中にあるから。核兵器がある戦争がなくなれば核兵器を作る必要がなくなるから平和になる。……

・……家が黒こげになっていたという話を聞いたので、戦争ということは本当にあるんだなあということがわかりました。ガラスがつきささって体の中を動くということを見るとこわかったです。……